



希望のケルン

平成 29 年 6 月 9 日発行

藤沢町住民自治協議会

〒029-3405

一関市藤沢町藤沢字仁郷 12-5

電話:63-5515 Fax:63-5517

Mail: fujii@dontokoi-f.comホームページ URL: <https://dontokoi-f.com/>

第 3 回理事会で事業部会の構成を決定

藤沢町住民自治協議会では 5 月 24 日（水）に第 3 回理事会を開催しました。最初に一関市より 3 月に策定された「一関市公共施設等総合管理計画」について、理事の方々に説明がなされました。

理事会では、今年度の事業部会の構成について提案され、原案のとおり承認されました。各部会の構成員は下記のとおりです。各部会では、今抱えている地域の課題について検討していきます。

	総務部会	産業部会	教育民生部会
部 会 長	佐藤 洋幸（第 36 区）	熊谷 幸雄（第 10 区）	葛城 行将（第 18 区）
副部会長	千葉 とき子（女性組織）	千葉 幹雄（認定農業者）	畠山 憲一（民生児童委員）
	辻山 一枝（第 14 区）	及川 則勝（第 2 区）	千葉 敏雄（第 7 区）
	小野寺 悟（第 35 区）	佐々木 隆成（小日形）	及川 雅行（第 37 区）
	金野 伸一郎（第 43 区）	千葉 ひろあき（第 24 区）	橋本 かよ子 （女性部副部長）
	千葉 悦子（女性部部長）	小野寺 ゆかり （女性部副部長）	伊東 勝子 （女性部副部長）
事務局担当	星 義弘	千葉 美香・星 美智子	菅原 照夫

生活物資リサイクル集団回収事業、日程決まる

第 72 回生活物資リサイクル集団回収事業を下記の日程で実施いたします。みんなでゴミのない地域を目指して、この活動にご理解とご協力をお願いします。

地区名	期 日	時 間	収集場所
藤沢地区	7月2日（日）	6：00～ 7：00	藤沢文化センター駐車場
黄海地区	7月9日（日）		藤沢市民センター黄海分館
保呂羽地区	7月16日（日）		第39区自治会リサイクル収集ステーション →保呂羽コミュニティセンター
大籠地区			郷土文化保存伝習館→大籠コミュニティセンター →第43区自治会館
八沢地区	7月23日（日）		藤沢スポーツランド向駐車場





※年間行事カレンダーとは、日程が変更になっておりますので、ご注意ください。

花苗は 6 月 23 日(金)から配布します。

平成 29 年度ビューティフル藤沢整備事業に伴う、花の苗の配布は 6 月 23 日(金)から 25 日(日)までの 3 日間、第 2 ふじの実学園駐車場に於いて行われます。すでに自治会長及び事業所宛に引換券を配布しておりますので、確認の上引取に行ってください。

当日は混み合う時間帯もありますので、時間には余裕をもって行ってください。

なお、一関市花いっぱいコンクール藤沢地域の花壇審査は、8 月上旬を予定しています。



「次世代プロジェクト 2017」6 月 30 日(金)に、藤沢中でワークショップ

「次世代プロジェクト 2017」が、今年度もスタートします。今回は、岩手県立大学の佐藤哲郎准教授やゼミ生も参加して、藤沢中学校生徒たちが藤沢の未来について話し合います。

中学生が希望や夢をたくさん語ってくれることを期待しています。

第 2 回住民ワークショップを 7 月 1 日(土)に開催します。

藤沢町住民自治協議会では、岩手県立大学との協働研究事業として佐藤哲郎准教授の指導のもと、第 2 回住民ワークショップを開催します。前回のテーマ「地域の宝(ひと・もの・活動・事業)を探し出そう」の話しの中で出された事柄を一步すすめて話し合いを行います。

徳田ふれあい絆水田

『がんばっ田』で、田植え交流会を開催しました。

農地・水徳田地区活動組織は徳田地区自治会協議会と共催で、5 月 28 日午前 9 時 30 分からふれあい絆水田「がんばっ田」に於いて、田植え交流会を開催しました。

この活動は東日本大震災で三陸沿岸部から被災して来られた方々を応援しようと 7 年前から行われている。今年も沿岸部に戻られた方々を含め、たくさんの方が参加され、久しぶりの再会に話も弾んでいました。田植え後は、地元自治会女性部や食生活改善推進員らが手造のご馳走で交流会が行われました。

また、この日奥玉の千葉(元教員)さんから陸前高田市の高田松原の「まつぼっくり」から育てた松の木が送られ、植樹祭も行われました。



がんばっ田の田植えの様子

市指定史跡黄海深堀館と『スギ(館の一本杉)』の草刈り作業を実施



早朝の作業に集まった地区の方々

深堀のスギ保存会(黄海を語る会・第 18 区自治会)では 6 月 4 日(日)午前 6 時から、一関市埋蔵文化財包蔵地「深堀城(深堀館)」と一関市指定天然記念物「スギ(館の一本杉)」周辺の草刈り作業を行った。現在周辺の樹木や竹林の成長に紛れ、このままでは「スギ」が枯れてしまうのではと危惧した地域の方々が保存会を結成し、昨年は散策道を整備し、今年度は環境整備を行います。

葛城会長は、この史跡が地域の人々の心の拠り所となることを目指したいと話されました。